第１回
おたる地域づくりワークショップ
まとめ

2018 年 10 月

＜発行＞
小樽市社会福祉協議会
第１層生活支援コーディネーター

第１回おたる地域づくりワークショップ
を開催しました！

平成 30 年 9 月 26 日(水)に、小樽市公会堂にて**「第１回おたる地域づくりワークショップ」**を開催いたしました。公益財団法人さわやか福祉財団の翁川 由希 様を講師にお招きし「みんなでつくろう　助け合いのある地域」についてお話をしていただき、その後“ 新・助け合いゲーム” の実践をとおして、助け合いについてグループ内で活発な意見交換が行われました！

＼模様替え？ 話し相手？／

＜手順①＞
自分が困っていること・助けてほしいことが書かれているカードを選ぶ

「私が困ってること、どなたか助けてくれませんか？ 」

＜手順②＞
グループ内で、自分の困りごとを助けてくれる人を探し、交渉が成立したら握手！

「それなら私がやってあげる！ 」

「自分がお手伝いできるカード」が手元に集まります。けど、中には引き取り手がないカードも…。

／困りごと、 周りに助けてもらえました！＼

ゲームはとても簡単！大きな手順は２つだけです(左図参照)。机に広げられたカードには、「除雪」、「ゴミ出し」、「子どもの一時預かり」、「食事介助」など、生活に関わるサービスがずらりと並んでいます。

「買い物に行くのがなかなか大変で…、誰かついでの買い物をしてくれない？」
「私しょっちゅう買い物に行くから、ちょっとした物なら一緒に買ってくるよ！」
なんて会話をしながら、グループ内で“ 助け合い” が行われていました。最終的に手元のカードが多い人は**「助け上手」**、手元のカードが少ない人は**「助けられ上手」**なんです。助け合いは、助け上手、助けられ上手がいないと成立しないのです。

実はこのゲーム、町会やクラブの集まり等、小地域単位でやることがより効果的なんです！ゲームをとおした助け合いが、実際の生活での助け合いにつながりやすいからです。逆に、カード交換のときに余ってしまったカードは、**その地域での“ 課題”** としてとらえることができます。その課題を解決するための活動につなげていくきっかけとして、このゲームを活用してみませんか？

「新・助け合いゲーム」は無料で貸し出しを行っております！

職員が説明・解説役として伺うことも可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

参加者の皆様からいただいたアンケート

今回のワークショップは参考になりましたか？

「とてもためになった」、「ためになった」と回答・・・・・・・97%！

- 得意分野・できること探しから始めることの大切さを知りました
- カードを見て、こんな困りごともあるんだなと新しい発見があった
- ゲームをとおして他の地域の課題を聞くことができてよかった
- 自分のできることが限られていることに気が付きました

どんな場面で「新・助け合いゲーム」を活用したいと思いましたか？(複数回答)

「介護予防教室」、「町内会の集まり」、「老人クラブの集まり」、「民生委員の集まり」のほか、「事業所内」、「他業種が集まる場」、「デイサービス」、「協議会の研修」で活用したいとご回答いただきました！

もっと知りたいこと、わかりにくかったこと(一部抜粋)

- ◆ 小樽市特有の課題や、近隣都市(札幌市など)の動向を詳しく知りたい。
  →現在、地域の方々に生活支援ニーズを尋ねたアンケートを集計中です。ニーズや課題等をまとめ、後日ご報告いたします。近隣都市がどのような動きをしているか、皆様へご紹介できるよう検討いたします。
- ◆ もう少し時間をとって、グループ内でじっくり話し合いができればよかった。
  →時間配分については、内容を見直し検討いたします。
- ◆ マンション生活だと近所付き合いが少なく、情報の伝達等もうまくできていない場合が多く困っている。
  →地域の課題として協議会で話し合いを進めます。
- ◆ 集いの場の実際の運営資金、資金づくりやスタッフの体制はどのようになっているのか。運営ボランティアは気軽にできるのか。
  →社会福祉協議会では、集いの場や見守り活動を行う小地域活動に対しての助成事業を行っております。また、運営ボランティアについては、生活支援コーディネーターが既存の活動とのマッチング等を行わせていただきますので、お気軽にご相談ください！

ご意見やご感想などなど(一部抜粋)

- ◆ 隣近所の付き合いを楽しくしていきたいと思います！楽しい地域にしたい！！
- ◆ 助け合いが大切だということがわかりました。助けられ上手、助け上手になりたいです。
- ◆ 外に出たがらず、介護予防教室に来てくれない人達の参加をどうやって促していくかが課題です。
- ◆ このゲームのことを、帰ったら仲間に話してみたい。
- ◆ 少し地域に意識を向けてみようと思いました。

「小樽市みんなでつくる地域のお役立ち手帳」を発行しました！

平成 30 年度の活動の中で、第 2 層生活支援コーディネーターと協働し、小樽市にある生活に役立つさまざまな情報をまとめた冊子を発効しました(各地域の集いの場や、便利屋さん等を掲載)。次年度、情報を更新し、お役立ち手帳の第 2 版を作る予定です！手帳はインターネットでも見ることができます(http://www.otaru-shakyo.jp/welfare/service_05/：小樽市社会福祉協議会)。

他にもこんな活動、やってるところがあるよ！

うちの情報が載っているが、直してほしい箇所がある。

もっとこんな情報についてまとめてほしい！

など、さまざまなご意見・感想等をお待ちしております！

編集後記

皆様お忙しい中、ワークショップにご参加いただき誠にありがとうございました！今回は業種や地域をバラバラにしてグループを組ませていただいたのですが、普段あまり交流の機会がない方々ともゲームをとおして和気あいあいとお話をしていただけたようで良かったです。第 2 回目は年度内に集いの場に携わっている方々をお招きし、開催する予定です。

皆様に体験していただいた「新・助け合いゲーム」はどなたにでも無料で貸し出しを行っておりますので、貸し出し希望の方や何かご質問がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください！

■ お問い合わせ ■

小樽市社会福祉協議会　第１層生活支援コーディネーター：高橋（たかはし）・青柳（あおやなぎ）

小樽市富岡 1-5-10 小樽市総合福祉センター内　23-7847　32-5641